

経営比較分析表（令和元年度決算）

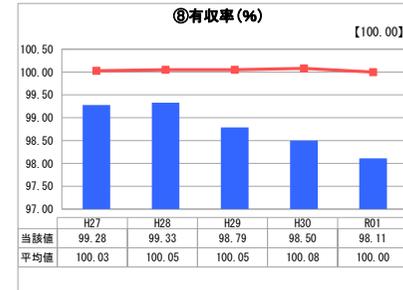
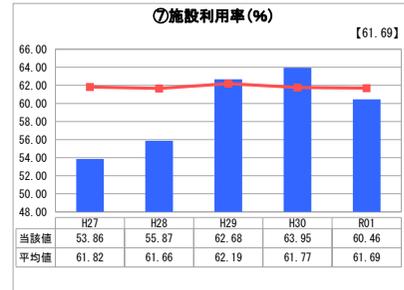
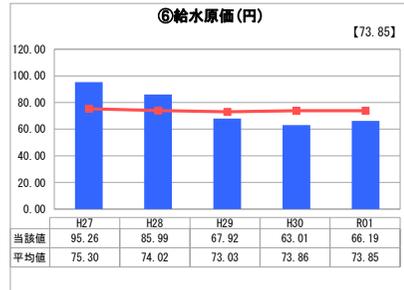
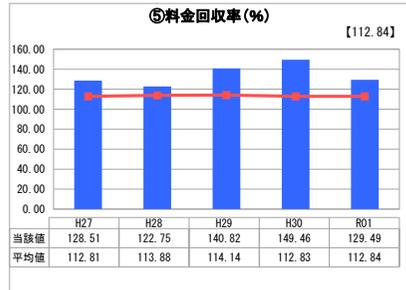
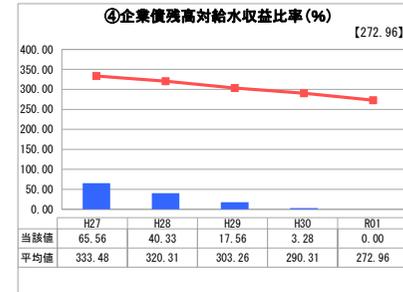
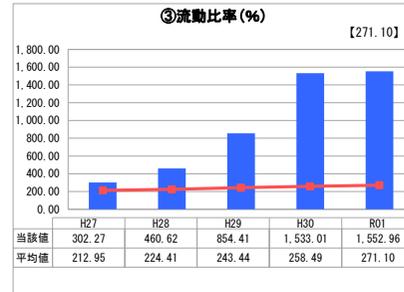
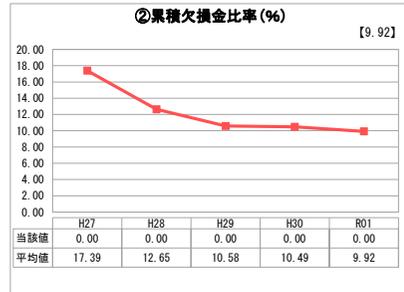
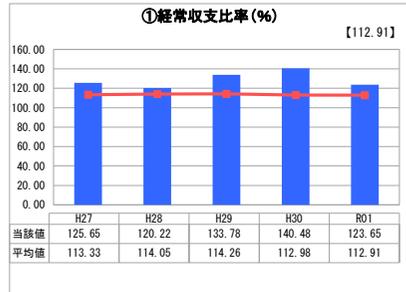
福島県 会津若松地方広域市町村圏整備組合

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	用水供給事業	B	その他
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	98.70	93.36	0	

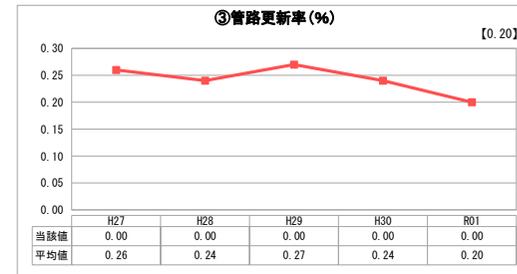
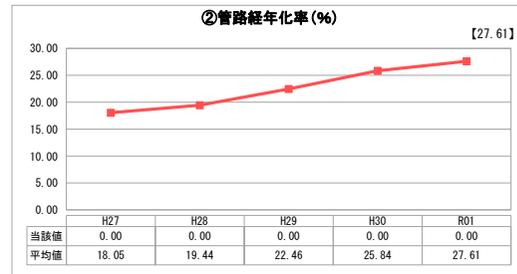
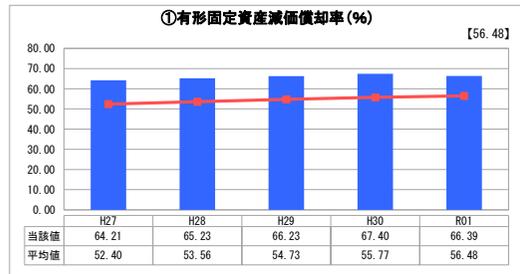
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
-	-	-
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
146,979	232.85	631.22

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

・経常利益は黒字で、経営収支比率は、100%を超えており良好といえる。

・流動比率は、100%を超え支払能力は十分といえる。

・施設利用率は、前年度より一時的な使用量増加のため、上昇しているものの、全体的には、節水型機器の普及や人口減少に伴い、減少傾向にある。

2. 老朽化の状況について

・有形固定資産減価償却率は、全国平均を上回っており、施設の老朽化が進んでいる。

・管路については、経年率は上昇傾向にあるものの、まだ法定耐用年数に達していない状況にある。

全体総括

・概ね、財務内容は健全性が確保されていると考えられる。

・施設更新及び耐震化については、長期財政計画(10ヶ年計画)において、長寿命化(施設更新)計画及び施設耐震化計画を定め、順次対応しているところ。

更に将来を見据え、アセットマネジメントを活用し、適正な規模や時期を見極め、更新を進めていく必要がある。